

発行所
西蒲原郡
巻町公民館
発行責任者
樋口弘雄
発行所 北洋印刷株式会社

市制を断念

市制問題を協議する急務町議会は、九月二十九日午前九時半から公民館に於て開かれ、席上河治町長は市制問題に對するこれまでの経過報告を行い、市制断念に至った決意をのべ市制問題に一応終符をうった。河治町長の報告内容は次のとおり。

市制施行については本年四月議員立法により成立した特別法により人口三万人以上にして市制施行不可能との法律に基き、巻町將來の繁栄を祈念し、高度の広域行政の実を挙げ、以て巻町在在の町民をして政治、経済文化の各方面に亘って都市的恩恵によくせしめるとの目的をもってこの問題にとりくんだ。

即ち六月三十日の議事会でその所信を披瀝し、幾多の困難はあるが、現住人口による案と、隣接和納村合併による、二つの案をもって努力を重ねてきた。ところが御承知のように和納事件で思わざる不祥事件を惹起し、私

も拘留されその間約一カ月の空白は誠に遺憾のことであった。

九月五日出所後、現住人口をもつて行くという案で進んだが、これまたその後法律的に不可能の線が打ち出された。巻町の新興現に格段の支持を与えてくれた県知事、副知事等の熱心なる研究によって隣接和納村の適当なる部落を一時合併し、人口要件を満し、新市建設が終った後、この部落を旧村に返すという案が自治庁より示された。

副知事を通しこの話が九月二十三日にあったので、直ちに市制施行委員に諮り、同意を得たので湯東村に工作を開始した。県当局の

希望による二十九日午前巻町、湯東村両議会議決、午後県会議決の線を実施すべく努力した。

湯東村井隨(人口八百人)部落は満場一致の同意を得たが、他の一部落五ノ上、その後番屋、大原(共に人口八百)の説得ならず、湯東村当局また急務議会召集の意志なき旨を明らかにされたので方針を明かにされたので万策尽き、二十八日夜十時、遂に市制施行断念の旨を声明した。

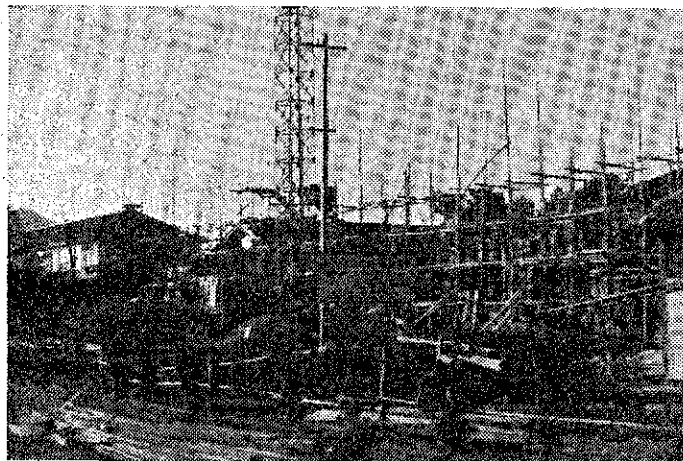
町議会は勿論のこと町内各団体、特に商工会の熱心な協力を得、また巻町の有する最高の智能と政治力を動員し、県当局は知事副知事をはじめとし県首脳部挙げての支援、

中央また地元出身代議士の隠れた協力あり、少くとも現在巻町の考えられるあらゆる力を最高度に活用して尚かつ目的を達し得なかつたことは誠に遺憾の極みであるが、これまた天の命する処であって止むを得ない次第である。私事に至って恐縮だが、私の心を支え激ま

してくれたのは矢張り何等かの方法による市制施行であっただけに今日に至って誠に腸を断つ思いが致します。これまた私の微力不明のいたす処、議員各位並に町民に對し慎んでお詫び申し上げると共に今までの御激励、御鞭撻を賜った各方面に對し心から厚く御礼申し上げます。

巻小学校 増改築工事継続

巻小学校の建築について、紙上いろいろと



て二カ年継続で工事を進め、工事は現状通り建築を続行してゆくことに正式に決定した。完工は明春一月中旬の予定で工事を急いでいる。

これで現在二部授業を行っている児童たちを早ければ三学期早々に新築された鉄筋の校舎で勉学にいそしめるわけである。このことについて河治町長は次のように語った。

- 「巻小学校建築についていろいろの点で町民各位や児童の皆さんに不測の不安を与えたことは遺憾であった。幸い町議会の同意を得て工事を現状通り進めることが出来るようになったことは誠に欣快に堪えない。
- この上は請負者を鞭撻して一日も早く完工して不便な授業をうけている児童を収容して皆さんによるこんでもういたいと思っております」
- | ◇分館長 | |
|-------|-------|
| 巻 | 斎藤 順作 |
| 中郷屋 | 斎藤嘉一郎 |
| 竹野町 | 玉木 勇治 |
| 仁箇 | 大橋喜久市 |
| 稲島 | 石崎 清蔵 |
| 入徳館 | 和田 清治 |
| 福井 | 齋藤 斧一 |
| 鷲ノ木 | 寺沢紀久一 |
| 浦浜 | 山際太四郎 |
| 松野尾 | 酒井文三郎 |
| 越前浜 | 篠沢 進 |
| 角田 | 小川 英一 |
| 四ノ郷屋 | 高杉 信弥 |
| 漆山 | 田辺 安吉 |
| 並岡 | 石山重市郎 |
| 東町 | 小林 勝次 |
| ◇分館主事 | |
| 中郷屋 | 渡辺 秀英 |
| 竹野町 | 堀之内吉栄 |
| 仁箇 | 藤田 郡治 |
| 稲島 | 若月 大蔵 |
| 入徳館 | 金子 正勝 |
| 鷲ノ木 | 霜島 進 |
| 松野尾 | 小出 寛治 |
| 越前浜 | 鈴木 実 |
| 角田 | 大滝 実 |
| 四ノ郷屋 | 黒田 寅治 |
| 漆山 | 富山 靖之 |
| 並岡 | 土田 誠 |

巻町社会教育委員会

巻町社会教育委員会は十月十六日巻町公民館で開かれ、巻町に於ける社会教育計画が協議された。努力目標として社会教育予算の増額、職員増員、社会教育内容の充実と方法の改善、施設の充実整備、指導育成、社会教育団の育成、広報活動の強化等を決めた。

◆今年巻町に於て暗い年であった。◆豊作を予想され、稲作も、煙草も、続く悪天候で無残な結果となり、農家であつて野菜に事欠く仕末。◆市制の夢絶れ、学校建築の補助、起債が思うようにゆかなかつたととき。◆中国に没法子(メイファーズ)という言葉がある。うち続く天災も、計画の挫折も、没法子かもしれぬ。◆しかし中国人の没法子の意味の中には、今は仕方がない、順応してゆこう、しかし何日かはと諦め切らない根強さを持っている。◆稲作についても、同じ気象条件の山形県が倒伏少く、予想外の収穫をあげている点や本県の施肥指導の反省、稲作カルテのこと、等いろいろ新聞に報せられておられる。◆町の行政の上でも、執行者と議会が真剣な討議がなされたとき、◆町の強さ、町民の根強さは、暗い話題の中から立ち上りの根をのばしてゆくだろう。





今年の県青年大会は、の因をなして行われる。この大会をあげると十一月六日、大会は本より東京都に於ける全郡は陸上、大会に駒を進めること総合、柔とになった。

剣道に栄 巻町から県大会に出えの優勝、場した選手並びに全国をなした、大会に出場する選手の蒲優勝の、栄を賞えたいと存じ、大会に参する選手は、

▲剣道 佐々木勝史、黒川、武彦、個人優勝、黒川君も個人四位、竹

▲柔道 小柳、善吾、野町鈴木栄一、有坂、博、外十九名合唱

▲唱歌 二位、荒城の月、菩提樹手

▲角田 斎藤、啓子、のひらの歌)

長寿番付

九月十五日の敬老の日を前後して町の敬老会はほとんと終ったが、この美しい精神的な行事が年々盛大になつてゆくことは喜ばしい。巻町の最高長寿者は竹野町の阿部シゲさんが昭和三十年十月調の一位を今日なお堅持していられる。

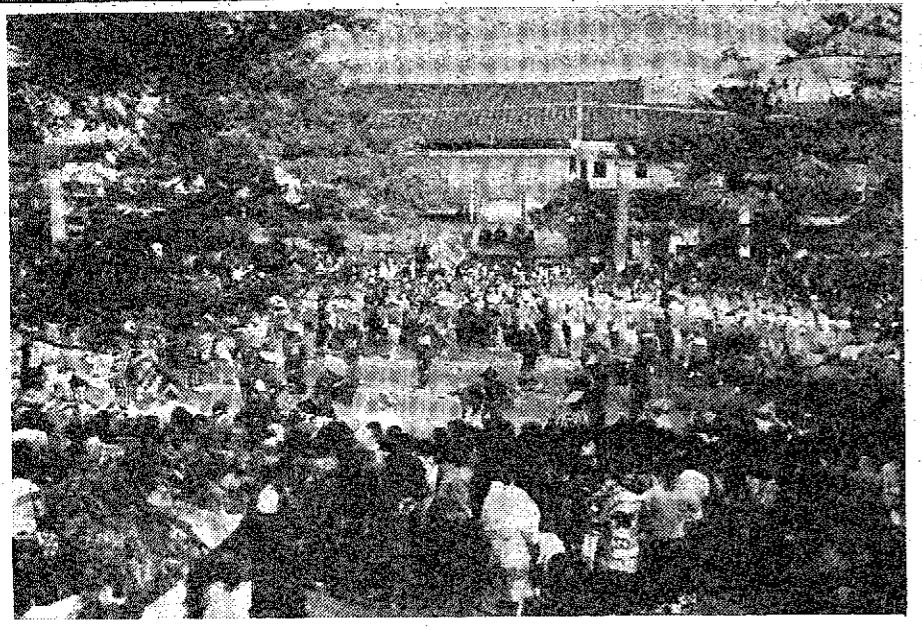
九九才女一名、九五才女一名、九四才女一名、九三才女二名、九一才男一名、九四女一名、九〇才男一名、九三女三名、八八才男二名、九四女四名

巻町長寿番付 (88才以上)

順位	年令	字	名	氏	名	生	年	月	日
1	99			阿	大山	資平	市	鈴	毎
2	95			阿	大山	資平	市	鈴	毎
3	94			阿	大山	資平	市	鈴	毎
4	93			阿	大山	資平	市	鈴	毎
5	91			阿	大山	資平	市	鈴	毎
6	91			阿	大山	資平	市	鈴	毎
7	91			阿	大山	資平	市	鈴	毎
8	91			阿	大山	資平	市	鈴	毎
9	91			阿	大山	資平	市	鈴	毎
10	91			阿	大山	資平	市	鈴	毎
11	90			阿	大山	資平	市	鈴	毎
12	90			阿	大山	資平	市	鈴	毎
13	90			阿	大山	資平	市	鈴	毎
14	90			阿	大山	資平	市	鈴	毎
15	89			阿	大山	資平	市	鈴	毎
16	89			阿	大山	資平	市	鈴	毎
17	89			阿	大山	資平	市	鈴	毎
18	89			阿	大山	資平	市	鈴	毎
19	89			阿	大山	資平	市	鈴	毎
20	88			阿	大山	資平	市	鈴	毎
21	88			阿	大山	資平	市	鈴	毎
22	88			阿	大山	資平	市	鈴	毎
23	88			阿	大山	資平	市	鈴	毎
24	88			阿	大山	資平	市	鈴	毎

清水次郎長罷り通る

多加良まつり



数々の催え人気を呼んだ多加良まつりは今年で七年目を迎える。この町に於ける秋の恒例行事となつてきた。

今年もまた、大売出しを始め、かしら人形コンクール、仮装大会、清水次郎一家二十八人衆が人気を呼んでいる。公民館を中心とした文化団体がこれに呼応して多催な行事を繰り展開しようとしている。



七回目を迎えた、今年の多加良まつりは、早くも十月二十五日の赤銅鈴之助等て人気を

一日食品衛生監視員となつて

有毒色素の問題、食料品店の施設や設備の問題等が保健所の指導で手が加えられ改良されていくことはよろこばしい限りです。

九月十六日、雨の日でしたが、保健所の申し入れもあって、私達生監視員になって町の食品衛生監視員として、監視業務実施に当たって、施設の基準手洗設備、給水、火器、消毒薬、不用物の整理、肉屋さん等を訪ねて見せて戴きました。

町立巻病院

昭和三十年十一月十日、町立巻病院を改築、病床数四〇、外に併設伝染病棟二四、医師三名、看護婦六名、職員七名、建坪三六五、五坪で町立巻病院として発足。翌三十一年には病棟を増築するなど、年々順調な歩みをつづけてきた、その後も患者数が激増し充分な

しての智識が与えられ、早速三つの班に分かれて保健所の係りの方と実際の監視の現場へ出発いたしました。

仕事の邪魔にならない様にいろいろと見せていただきましたが、すでに主婦による一日食品衛生監視を実施する旨、通知してあった故でもないでしょうか、さちと整頓されてお視は各々一時間半で終わりました。素人のちよ

婦人会

院といわれるだけに、内科、小児科、外科、皮膚科、整形外科、産婦人科、眼科、放射線科と揃い、新生児室、断層レントゲン、ガス麻酔インターホン設備等の最新設備が充実し



連合大売出し

大売出しは二十五日より十一月九日、期間一杯続けられる。

三日文化の日には従業員水年動議者の表彰式及び慰安演芸大会が小学校に於て午後一時から行われる。表彰の対象は主として工業関係の従業員で十年以上の勤続者となつており当日は工場従業員が招待される。

昨年、宇宙人、バナナポート、サザニさん赤銅鈴之助等て人気を

邦楽大会など

十一月二十五日公民館で発表会、表彰式を挙行するが申込メ切は十一月十五日商工会、入選者には町長賞などが用意されている。

巻町柔剣道大会は十一月二日午前九時半から漆山小学校で開催。試合方法は、団体試合は柔道は七名一組、少年の部三名一組、剣道は三名一組とし有段、無段少年の部に分ける、その他紅白試合表彰は各々三位まで、申込みは二十八日巻町役場内大会事務局宛のこと。

巻中文化祭 七日、八日の両日巻中学校文化祭が開かれ

公民館を中心に 一日二日は巻町華道会による生花展、三日カナリヤ展、四日五日菊花展(切花部大会)四日より六日まで郡支部階上で菊花展巻町大会六日七日生花展(茶席)八日九日パレトクラブゆうやけ会による洋画展十日十一日書道展十二日十三日梨本正太郎氏の文化遺産展十四日十五日写真展等が計画されている。会場はいづれも公民館。



多加良まつり並に協賛行事

主催 町 巻町商工会

行事名	期日	会場	行事内容
1 多加良まつり祭典	11月7・8日	多加良神社	7日前夜祭当日午後4時直会(前売券150円) 8日午前9時祭典執行
2 従業員永年勤続者の表彰及慰安演芸大会	11月3日午後1時	巻小学校	10年以上勤続従業員の表彰 10月1日現在を以って20日迄商工会申告、主として工業関係従業員対象工業従業員招待
3 映画会	11月7日午後7時 11月8日午後7時	漆山小学校 竹野町小学校	新潟日報社提供 日報ニユース、メトロニユース、漫画、鯨を追う男(東映)
4 巻町芸妓連及宣伝カーパレード	11月7日	各支部廻り	午前9時出発 新生巻町巡迴午後4時半まで 宣伝カーの申込みは十月末日まで巻町商工会宛 全員に参加賞贈呈
5 かかし人形コンクール	11月5日より10日まで	参加店頭	独自制作のものに審査の重点を置く(人気投票は本年中止する) 申込は20日まで商工会へ 1等1点3,000円 2等2点1,000円 3等5点500円
6 清水次郎長一家罷り通る28人衆仮装大会	11月8日	巻地区巡廻	午後1時出発町内巡迴午後4時終了 1.巻町芸妓連お囃子道中 1.清水次郎長罷り通る(巻町有名商店主出演役当て投票)
7 多加良まつり協賛巻町連合大売出し	10月25日より11月9日まで	全 町	ビクター専属歌謡まつり御招待
8 写真コンテスト	行事期間	全 町	多加良まつり行事を題材としたものメ切11月15日 発表11月25日巻町公民館賞品町長賞外

◎申込又は申告を要するもの

- 1.かがし人形コンクール 10月20日まで
- 2.宣伝カーパレード 10月31日まで
- 3.永年勤続者(事業主より) 10月20日まで
- 4.多加良まつりの直会 11月5日まで

石井詠童氏追悼邦楽大会	10月26日	巻東映劇場	長唄、琵琶、箏曲、尺八、義太夫、舞踏三曲
生花展	11月1・2日6・7日	巻町公民館	1・2日第1次展6・7日第2次展 7日会場に茶席を設ける
かなりや展	11月3日	"	
巻地区町民運動会	11月2日	巻中学校	2日雨天の際3日
菊花展(切花)	11月4・5日	巻町公民館	郡菊花大会
菊花展(巻町大会)	11月4・5・6日	郡支部	
巻中文化祭	11月7・8日	巻中学校	児童作品展
洋画展	11月8・9日	巻町公民館	パレットクラブ外
書道展	11月10・11日	"	
文化遺産展	11月12・13日	"	故梨本正太郎氏遺作展
写真展	11月14・15日	"	
商業美術展	10月下旬 10月下旬	"	予定



みんなで作った公民館

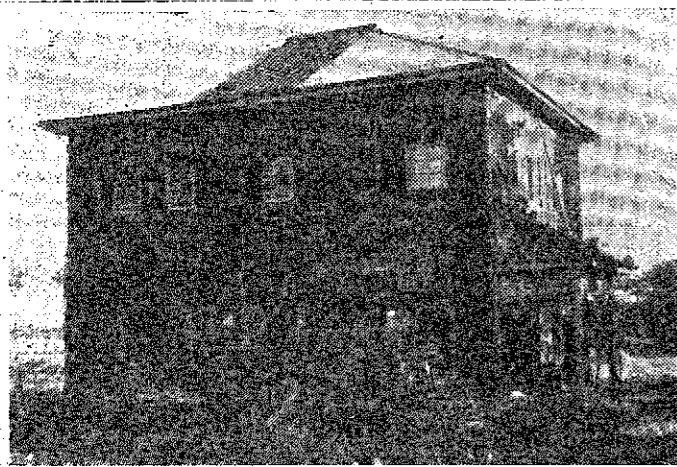
部落民の宿願なる

古志田、寺湯、下郷の三部落が部落統合をして新生「東町」が生まれた。

それそれの神社、火葬場を統合して生活の無駄をなくし、その余剰財力をもつて、われらの公民館をつくらうという声から、年々、婦人、中年層から起き、ついに部落を動かして今春部落統合をみたもの。

八月巻小学校の増築に当りその古材をもとに神社、火葬場を一ヶ所残して処分、又部落共有の田圃二反歩も処分、位置も部落の中央に待望の公民館建築が進められ、このほど完成東町分館として発足した。

子供の遊び場をもたないこの部落では将来プラン、砂場、昼も入れた、新生東町の前途は明るい。



(写真は開館した東町分館)

尚分館長に小林勝次氏が推された。

布日部落も数年來の計画であつた公民館が九月末日完成、よろこびの開館をした。

同部落はかつて仁箇公民館区域の中にあつて公民館事業はすべて仁箇まで出かけてゆかねばならず、自分達の茶の間をつくらうという声はすでに数年におよんで来た。

今春部落内に適当な空地が出来たのでこれを契機に今回の実現を見たもの。

建坪三八坪、木造平家建、集会場、会議室、事務室、調理室等も備えた明るい分館で工事費は七十万円である。

上原会長さん県代表に

昨年六月以来「脳卒中」で死亡する不安をとり、健康にして明るい村づくり運動をすすめてゆこう」という課題にとり組んだ竹野町婦人会は、学習の中に多くの基礎調査(死因、家系因子、食生活等)をとり入れ実態を把握し、それと同時に部落の啓蒙や集団指導を実施するなど、めざましい活動をつづけて来たが、去る十月十日、新潟市大和ホールで開催された県生活改善体験発表会で、抜群の成績で見事栄冠をかち得、来月上旬東京で行なわれる全国大会に県代表として出席するこ

とになった。

発表者は同婦人会長の上原トシさんで、東京でも優秀な成績が期待される。

石山 主事表彰さる
九月二十日妙高々原町に於て開催された新潟県公民館大会の席上当町公民館の石山、高橋両主事が優良公民館職員として県公民館連絡協議会より表彰されました。

町のニュース
好評を得て町内を巡回した「町のニュース」が今公民館で編集されている。



(写真は県公連大会表彰式)

今回製作される町のニュースその(1)は去る七月二十二日から降り続いた大水害による被害の惨状を扱った水害特集、巻町に於ける農業史の一頁をここにどうとめようとするもの。

又九月六日竣工式を挙げた「町立巻病院」も同時に編集に着手、近くお目見えする答利用下さい。

巻地区
町民運動会
八月雨天延期した巻地区町民運動会は十一月二日午前八時半から(雨天三日)巻中学校で開催する。

種目中どしどし、擲球走、玉ころがし競走を取り止めることにし、プログラムも午後予定されていとうさぎ競走されるのが競走を午前中にする等一部変更することにになりました。

▼午前の部
1男 障害物競走
2女 風船取り競走
3男 うさぎ競走
4男 たるころがし競走
5男 学年別競走
6女 " "
7男 年令別競走
8女 " "
▼午後の部
1男 むかで競走

青年団、体育協会加盟団体その他中学校でも地区大会、県大会への選手派遣に際して、それぞれが四苦八苦、ついには出場を断念することも再三あった状態であり又それがための消耗品、審判員謝礼いわんや備品等についても、その都度町の篤志家の寄附金によるものが多い現状である。

そこで町のスポーツにまた青少年教育に理解と関心を寄せられる方々にお願し後援会を結成し選手をのびのびと出場させ且巻町のスポーツ興隆の一助として「巻町体育後援会」を設立することとなり今発起人が会員募集中である。

盛会なる壮行会
— 全国青年会 —
五人の選手を全国青年大会におくる、巻町連合青年団では十一月

一日午前九時より巻の藤見座映画劇場で盛大なる選手壮行会を開催する。

尚当日は広く青年団員に呼びかけ映画前売券を売りさばき、選手派遣費の一部を捻出しようとするもの。

青年団では協力を望んでいる。

開会の辞、選手紹介、町長、教育長等多数の激励の辞が予定され終つて映画を鑑賞する。

派遣選手は

◆剣道 漆山 佐々木勝史、佐藤 竜治、黒川 武彦

◆柔道 小柳 善吾、有坂 博

原稿募集
町民の声(ろばた) 婦人の声・随筆 小品文・短歌 俳句・詩 その他
宛先 巻町中央公民館内編集部
いずれも原稿用紙を使用して下さい。選択は編集部にお任せ下さい。

亡びゆく町の文化財

— 斎藤 順作

中郷屋の笛木様をはじめ方々からお借りして読ませて頂いた文書を、せめて分っただけでも整理してみようかと、そのノートを引張り出して見たのだが、出て来るの来るの「皆無御手当願」だの「貸付金滞一件」だの水争いだので、すっかり憂鬱になり、気分転換に岩室の天神山城跡へも出かけて、自由淵達に功名手柄を競いあつた上杉時代の空気で吸ってみようかと一日出かけてみた。

昔むしたまの石垣も瓢箪池の山椒魚も松の梢を渡る風の音も総ていつか渡辺寛三郎さんに連れて来て頂いた。当時と変りなく、その松韻を聞きながら、私はあんなにまでこの山を愛し続けられた渡辺さんのことなど思ひ続けた。

掃路の響の清水もやはり滴々と音をたてていたし、その溪流も、溪流の側を、間を縫う小径も昔のままだった。ところが、その溪流の丁度半分位からは三間巾の立派な林道になっていて、昔の面影は



水芭蕉もいつてみるに引きちぎられた残骸が点々と散らばっている。北越路風土記によれば野生の福寿草が角田山にもあったという。

そんな時、われわれはいつた誰に訴え誰にお願ひしたらいいのだろうか、そうしたことを心配している骨折って下さる機関はできないものだろうか。もっとはつきりいえば、県や分水町でおいである文化財保護委員会といったようなものがおかれないうかというのである。

以下次号に続く

佐藤吉五郎さんがいられた頃そのお宅でいつもの連中が集って、旧巻内の建物で残しておきたいものとして誰も異議なしとして、そしてそこを郷土博物館美術館、小さな図書館も兼ねてなど話しあつた。昔の税務署もアツという間にこわされてしまった。またこれは幸に伊藤正一氏の聞き違いであつたのだが、例のゴルフ場の第二期工事で上城下城がくずされるときいて来て、巻町にたつた一つの城跡をくずされてはと一同顔色を変えたことであつた。

水芭蕉もいつてみるに引きちぎられた残骸が点々と散らばっている。北越路風土記によれば野生の福寿草が角田山にもあったという。

そんな時、われわれはいつた誰に訴え誰にお願ひしたらいいのだろうか、そうしたことを心配している骨折って下さる機関はできないものだろうか。もっとはつきりいえば、県や分水町でおいである文化財保護委員会といったようなものがおかれないうかというのである。

以下次号に続く

この動きは郡青年団体育大会出場拒否問題が契機となり、かつては陸上巻の名をほしいままにした時期もあつた。この地区の青年団もこの数年、衰微の一途をたどり、最近では全くその影をひそめてしまったもの、原因は地区一本の網羅組織による連絡の不徹底、雑多な職業の中に於ける団活動の問題、年令の問題、行われる事業の偏向、娯楽施設の問題等々検討を加えることもなく、情性で続けられてきた処にも問題があつたと思う。すでに数回にわたり会合が

初夏の草のいきれにむせびつつ女ほりする力湧きたれ無花果の障子にうつる葉かげより葉子と名附く秋の月夜に
(歌集「たちね」から、元県立巻中学校教諭葛岡常治氏)

結成準備進む

巻地区青年団

巻地区青年団結成への動きは、去る八月初旬以来準備が進められてきた。

この動きは郡青年団体育大会出場拒否問題が契機となり、かつては陸上巻の名をほしいままにした時期もあつた。この地区の青年団もこの数年、衰微の一途をたどり、最近では全くその影をひそめてしまったもの、原因は地区一本の網羅組織による連絡の不徹底、雑多な職業の中に於ける団活動の問題、年令の問題、行われる事業の偏向、娯楽施設の問題等々検討を加えることもなく、情性で続けられてきた処にも問題があつたと思う。すでに数回にわたり会合が

巻時代

葛岡 丈二

くもり日の天の下なる菜の花のいろにひろがる野のうれひかな身しろがば狂ひもせんとたそがれの障子のなかにじつと坐れる越の国西蒲原ははしきよし十里の青田夏風もたる

初夏の草のいきれにむせびつつ女ほりする力湧きたれ無花果の障子にうつる葉かげより葉子と名附く秋の月夜に
(歌集「たちね」から、元県立巻中学校教諭葛岡常治氏)

野の佛

晴れ間にみせる空の色、雲のたゞずまい、黄、くれないに色づきはじめて山の木々。里の秋は、一雨毎に深まってゆく。

風である。
深みゆく秋の日を惜しむがごとく、諸仏の表情は、ときには明るくほゝえみ、時には暗く沈んで、なにかを語り、さゝやいているかのごとくである。



この辺で緊禪一番住民の立場になって国や町の行政に当たっていた。 (北)

